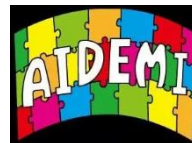


募集



掲示用資料



高校生同士の交流を日中関係改善のきっかけにしたい

福島・中国高校生友好交流事業「あいでみ」

福島県で高校生の社会課題解決プロジェクトを支援する一般社団法人Bridge for Fukushima(福島市、代表理事 伴場賢一)が主催となり、福島・中国の高校生が「両国の課題」について学び合うため両国の高校生同士で一から創り上げる取り組みです。

＜プログラム概要＞

・主催:(一社)Bridge for Fukushima

・参加者: 福島県内の高校生

・活動場所:

【交流までの準備】Bridge for Fukushima事務所(福島市)

【**福島交流**】福島での7月下旬～8月上旬での復旦大学附属高校の高校生との交流(3～4日程度)

例: 福島高校授業見学、鶴ヶ城観光、飯坂温泉でのフィールドワーク

・企画内容:

福島の高校生自らが主体となり、中国の高校生との交流を創り上げるプログラムです。オンライン会議などを通じ中国側と交流内容を創り、相互国訪問交流を行います。

●実施目的

福島県内高校生と上海市内高校生の友好相互交流事業です。福島と中国を高校生の草の根友好相互交流でつなぐことで日中関係の回復に寄与すると共に、日中両国の課題をテーマとしたディスカッション等を通じ相互理解を深め、その解決策をつくり、実行することを目的としています。

●実施背景

平成25年3月、「高校生同士の交流を日中関係改善のきっかけにしたい」との思いから、福島県立福島高等学校の一年生(当時)がキャリア教育の一環として日中高校生友好企画「福島にあいでみ」を企画し、復旦大学付属高校、上海市大同高校の教員及び生徒を福島に招いて交流事業(被災地復興状況視察、スキー交流、英語でのワークショップ)を行ったのが当事業のきっかけです。



これまでの活動内容はこちら(<https://www.facebook.com/fukushimaniaidemi/>)→





■企画詳細

■スケジュール

・6月下旬～8月下旬

- 中国側高校生とのオンラインミーティング等を通じた「事前交流会議」
- 交流時ディスカッションの準備(月2回程度、福島市で実施予定)

※交流直前になると週1回程度で集まります。

◆交流:2018年8月上旬(夏休み)福島市での上海市内高校生との交流(4泊5日程度)

■参加対象者

- ・福島県内在住の高校生※県外避難中の福島県民生徒は要相談
 - ・交流活動内容を主体的に創造し、福島市で実施予定の準備会議に参加できる
 - ・月2回程度の福島市で実施予定の準備会議に参加できる
- ※本取組では、Bridge For Fukushimaスタッフ、大学生のあいのみOBが皆さんの活動をサポートします

■申し込み方法

①オンライン:申し込みフォームURL (<https://goo.gl/forms/T8EErIGQWwQ2pDp23>) または下記QRコードより 応募フォームに必要事項記入後、応募。

②郵送:別添様式「参加者用選考様式」「参加承諾書」を記入、以下へ直接郵送願います。

別添様式はBridge for Fukushimaのwebサイト (<http://bridgeforfukushima.org/koukouseip/aidemi>) からダウンロードし、ご記入ください。

郵送先:

〒960-8061 福島市五月町2-22 (一社)Bridge for Fukushima「あいのみ」係 宛



※公欠届などが必要な場合や、外部での交流プログラム参加に学校の許可が必要な場合、必ず自分が所属する学校内の担当教諭に手続き方法を確認の上、担当教諭の氏名・連絡先を書き添えたうえで得、ご応募ください。

締切:2018年6月23日(土曜) 必着

■参加に際しての注意事項

1:費用負担

・福島市での活動に伴い、福島駅までの交通費を、居住地域により一部補助を行います。

2:個人情報管理

・お預かりした氏名、住所、電話番号、e-mailアドレス等個人情報は、当企画の実施に関することのみで使用します。本人の許可なく第三者に公表することはありませんが、企画実施時には、氏名入り名札等を着用します。

3:取材等について

企画実施に際し、プレスリリース、新聞等メディア、facebook等のSNSに活動内容や写真が掲載されることがあります。ご了承の上、参加をお願いします。

本企画に関する問い合わせは、下記までお願いします。
(一社)Bridge for Fukushima大学生サポートスタッフ 小貫和音
(電話:024-503-9069 メール:info@bridgeforfukushima.org)